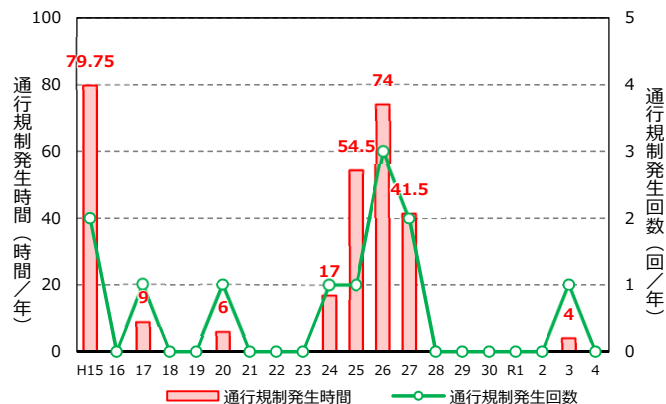


一般国道238号 紋別防雪

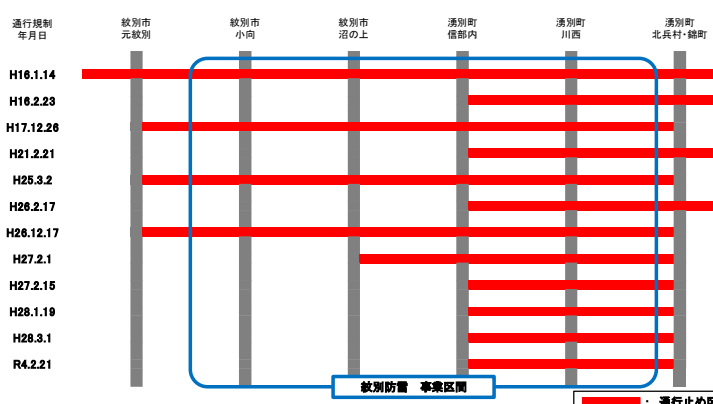
現道の課題（地吹雪）

- ・紋別防雪の事業区間には、「地吹雪」による防災点検要対策箇所が5箇所存在。
- ・平成15年度～令和4年度において、冬季の視程障害（吹雪）による通行止めが約290時間発生。
- ・当該道路の整備により、防災上の要対策箇所が解消され、道路交通の確実性及び安全性の向上が期待。

【「地吹雪」による通行規制の状況(H15～R4年度)】



【「地吹雪」による通行規制の発生区間(H15～R4年度)】



地吹雪による視程障害(小向地区:H25.3.2)

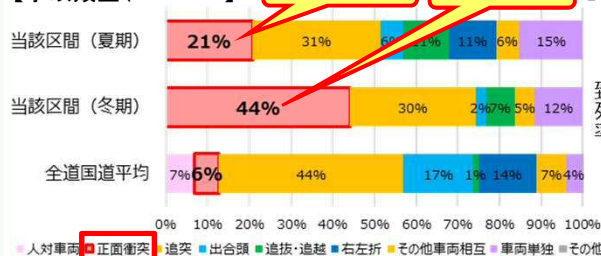


地吹雪で動けなくなった大型車(沼の上地区:H16.1.19)

水産品の流通利便性向上

- ・紋別防雪の事業区間では、致死率の高い正面衝突事故の割合が高く、全道国道平均と比較し、夏期で約4倍、冬期で約7倍。また、致死率は約13.9人/100件と全道国道平均の約7倍。
- ・当該道路の整備により、致死率の高い正面衝突事故の低減が見込まれ、道路交通の安全性向上が期待。

【事故類型(H10～R3)】



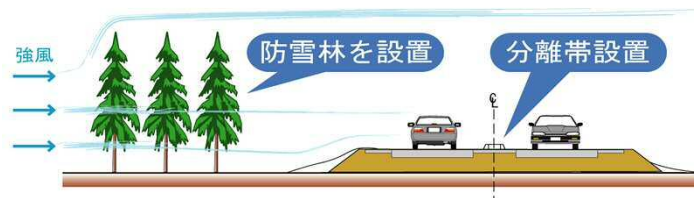
【致死率(H10～R3)】



資料：イタルダデータ(H10～R3) 冬期は1～3、12月

対策内容

- ・防雪対策として防雪林等を設置
- ・正面衝突事故防止のため、中央分離帯を整備



防雪林整備



中央分離帯(防護柵)